

琉球大学博物館（風樹館）

海のおもしろさを伝えたい！ 大学院生による研究成果発信の実践的取り組み

実施期間：2024年7月16日～2025年3月14日



展示制作の様子（活動①）



展示制作発表会の様子（活動②）



セミナーの様子（活動③）



セミナーの様子（活動③）

【事業の内容・目的】

- 本事業では、海に関する研究を行っている大学院生の研究成果の社会還元や教育に対する興味・関心を強め、その実行のために必要なサイエンスコミュニケーション能力の向上をさせることで、「海の学び」を実施する次世代の人材育成を主たる目的として活動しました。
- また、大学院生の学びだけでなく、地域のこどもや一般の方にも、琉球列島の豊かな海の生物多様性への興味関心や理解を深めることにもつなげ、当館の学びやコミュニケーションの場としての機能強化も目指しました。
- 具体的には①大学院生による展示の企画・制作、②展示制作成果発表会（海の学びの実践①）、③大学院生による研究紹介セミナー（海の学びの実践②）の3つの活動を行いました。

活動の様子

1. 大学院生による展示の企画・制作

【実施期間】2024年7月～2025年3月

【開催場所】琉球大学博物館（風樹館）

【参加者数】12人

【活動内容・目的】

- 大学院生が、自身の行っている海に関する研究について、小学生を対象とした博物館展示を作成した。どのようにしたらわかりやすく伝えることができるのか、興味を持ってもらえるのかを考え、工夫を凝らしながら展示資料の作成を行いました。
- わかりやすく伝えるためのスキルの習得や「海の学び」を実施する立場としての視点を意識できるようになることを目指しました。



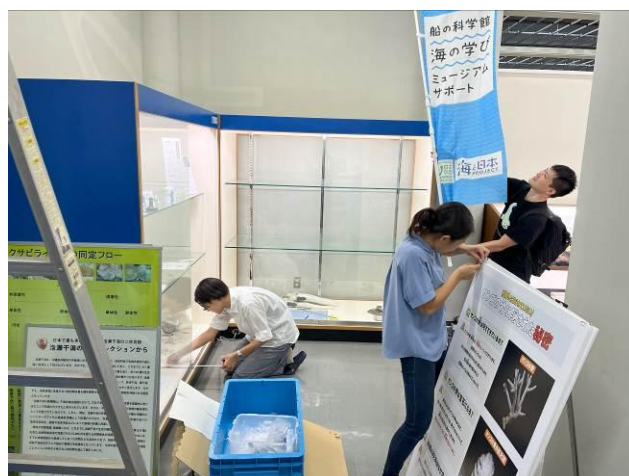
ディスカッションの様子



展示ケースの塗装



展示資料の選定・説明パネル作成



展示ケースの改造・説明パネルの設置

博物館職員からのレクチャーで展示制作に関する知識やスキルを学んだり、グループディスカッションで課題やアイデアを他の参加学生と共有したりしました。それらを活かしつつ、各々で自分の研究と関連した展示を作成しました。展示ケースや照明の仕様などから自由な発想で展示を企画・制作しています。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



本事業開始前の展示



大学院生らによって作成した展示



サンゴの展示



シャコ（新種記載）の展示



フジツボの模型



顕微鏡・触れる体験コーナー

サンゴ、シャコ、ナマコ、フジツボ、水中考古学、貝製品（考古学）の6つのテーマで展示を作成しました。説明パネルだけでなく、標本や模型も制作し、こどもに興味をもってもらったり、理解しやすいように工夫を凝らしました。

【参加者の声】

- 海に関わる学問について、どのようにして博物館を活用して発信するのかを知ることができて面白かったです。
- とても楽しかったし、勉強になりました。展示の作り方も人によって様々で自分がない発想も多く、参考になる部分が多かったです。
- 色々な博物館に行った時に展示の内容だけでなく、文字のフォントや色など、製作側の方も考えるようになった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

2. 展示制作成果発表会（海の学びの実践①）

【開催日時】2024年11月16日（土）～2025年3月14日（金）

【開催場所】琉球大学博物館（風樹館）自然系展示室

【参加者数】1,737人

【活動内容・目的】

- 活動①で制作した展示を一般公開し、来場者から感想や展示作成に関するアドバイスなどのフィードバックを受けた。
- 11月16日、12月14日、2月2日、8日、15日の5日間は、制作した学生が展示の前で来場者に向けて説明を行った。
- 大学院生にとっては海の学びの実践する機会、地域のこどもや一般の方が琉球列島の海について学ぶ機会になった。



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子

大学院生は各々が制作した展示の前でこどもたちに説明を行いました。自分が作った展示を見た時のこどもたちの反応を間近で見て、どういうところに興味をもつのか、難しそうところはどこかなどたくさんの気づきを得ました。



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子



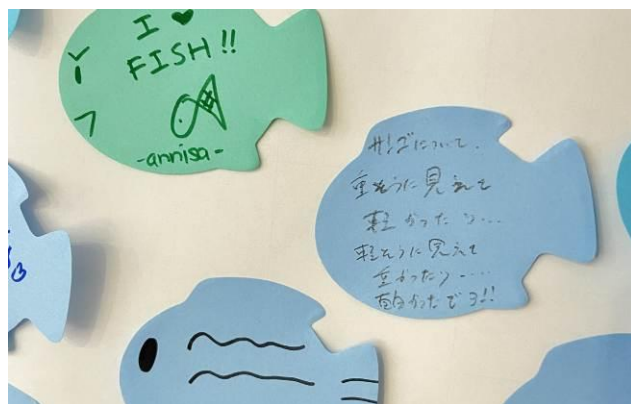
展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子



展示制作発表会の様子

参加した子どもたちは、標本や模型を熱心に見て、大学院生に質問をして海の生き物に関する理解を深めました。たくさんの方から感想もいただきました。

【参加者の声】

- 海を大切にしないといけない。あわせて、生き物も大切にしないと。絶滅させないように努力する。
- 海は広く、歴史を感じることもでき、身近なところで大切にしていきたいです。
- サンゴの展示がとても見やすく不思議な形がいっぱいあったのしかった。
- こんなに小さな生き物が大きな海にいるんだなと感じた。(顕微鏡コーナー)
- 珊瑚が意外と大きくてびっくりした。(今までは欠けた一部しか見たことがなかった)

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

3. 大学院生による研究紹介セミナー(海の学びの実践②)

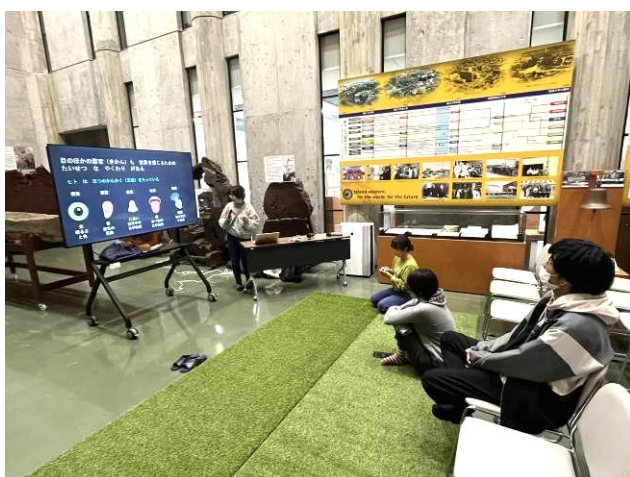
【開催日時】2024年11月16日、12月14日、
2025年2月2日、8日、15日

【開催場所】琉球大学博物館(風樹館)ホール

【参加者数】79人

【活動内容・目的】

- 大学院生が講師となり、自身が行っている海に関する研究をテーマに、地域の小学生等を対象としたセミナーを行った。
- こども向けの資料作成やセミナーの実施を通して、学会等の専門家向けの発表とは異なる工夫や気を付ける点など学ぶ。
- 参加者にも琉球列島の海についての学びの場となった。



セミナー練習の様子



セミナーの様子



セミナーの様子



セミナーの様子

大学院生同士でセミナーの練習をし、表現や難易度が適切かどうかのチェックや改善点の意見出しを行うなどして発表の準備を行いました。しかし、セミナー本番でのこどもたちの反応は予想を超えていて、貴重な学びの機会となりました。特に、質問コーナーでは、40分も質問が絶えず、しかも非常に難しい質問もあり、質問千本ノック状態で、鍛えられました。また、研究のヒントになるような質問もあり、こどもたちからたくさんのことを学ばせてもらいました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



セミナーの様子



セミナーの様子



セミナーの様子



セミナーの様子



セミナーの様子



セミナーの様子

大学院生のから説明を受けて海のことをたくさん学びました。説明を聞くだけでなく、研究で使う道具を持たせてもらったり、工作も行ったりと、楽しく学ぶことができました。

【参加者の声】

- 分かったことは、ナマコが砂を食べることです。海のお掃除をするし、目も花もないから不思議だなと思いました。
- 子供の質問にもわかりやすく丁寧に答えていただいていたありがとうございました。普段関われない大学院生の方々と触れ合えて、学ぶことの楽しさをしれたと思います。
- 環境教育や展示作製の手法だけではなく、私自身の研究の見せ方や今後の指針も学ぶことができました。子供向けのセミナーでは、一方的に教えるだけではなく、多角的に問いに向かうヒントをもらったと感じています。(大学院生)

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

【事業全体のまとめ】

本事業では、参加した海に関連する研究を行っている大学院生の海洋教育に対する関心が強まり、その重要性の理解につながりました。また、本事業の経験や習得したスキルを活かした活動が期待されます。

また、本事業には地域から多くのこどもたちとその保護者等の参加がありました。「サンゴがこんなに種類があるなんて」「フジツボはエビのなかまということびっくり!」「海を子供達にも海を残してあげたい」などの感想があり、琉球列島の海に関する知識の習得や、環境保全の重要性の理解につながりました。普段は関わりの少ない大学院生から学ぶことで、興味関心が増加し、また研究を始める経緯を知れるなど、より効果的な学びになったようです。

本事業のサポートを受けることで、大学院生の自由な発想で展示が作成できたり、近隣の小学校へ広報活動ができたりなど、当館だけではできないような効果的な活動となりました。本事業の成果を活かしながら海の学びの活動を続けていこうと思います。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 琉球大学 大学院 理工学研究科	大学院生への周知や参加促進、専門的なアドバイス等

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 沖縄タイムス	海のおもしろさ琉大院生が伝授、2024年12月11日
2. 沖縄テレビ (RYUGIN GOOD NEWS)	大学院生が伝える海のおもしろさ、2025年1月18日

以上